



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

会社名 太平化学製品株式会社  
 コード番号 4223  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門田 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 坂田 昌繁  
 親会社名 東ソー株式会社(コード番号:4042) 親会社における当社の議決権所有比率 :75.93%

グリーンシート銘柄  
 URL <http://www.taihei-chemicals.com/>

TEL(048)222-1122

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(注) 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,815	( 1.9)	△ 1	( -)	49	( -)	28	( -)
26年3月期第3四半期	3,743	(△ 3.7)	△ 151	( -)	△ 88	( -)	△ 63	( -)

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 44百万円(-%) 26年3月期第3四半期 △ 48百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	2 32	-
26年3月期第3四半期	△ 5 20	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,496	2,973	35.0
26年3月期	8,285	2,928	35.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,973百万円 26年3月期 2,928百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0 00	-	0 00	0 00
27年3月期	-	0 00	-		
27年3月期 (予想)				2 50	2 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	5,300	4.1	40	-	80	-	50	-	4 07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期第3Q	12,300,000株	26年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	27年3月期第3Q	9,062株	26年3月期	8,342株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期第3Q	12,291,056株	26年3月期第3Q	12,291,963株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在に入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後の国内外の経済情勢や予測不可能な要素等により、実際の業績は現在予測している数値と大幅に異なる可能性があります。

なお、業績予想に関連する事項は、第3四半期決算短信(添付資料)2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付書類の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. (要約) 連結財務諸表等 .....	3
(1) (要約) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(要約) 四半期連結損益計算書 .....	5
(要約) 四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）におけるわが国経済は、消費増税後の落ち込みから持ち直しつつあるものの、物価上昇に伴う実質所得の低下の影響から弱めの動きが続いており、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループは、東南アジアをはじめ海外案件の獲得を推し進めるとともに、生産性・品質の向上に努め、新規製品の開発に注力してまいりました結果、売上高は3,815百万円、対前年同期比71百万円（同1.9%）の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増収効果や経費削減及び製造原価低減に努めたことにより、営業損失は1百万円、対前年同期比149百万円の増益となり、為替差益の発生等により、経常利益は49百万円、対前年同期比137百万円の増益、四半期純利益は28百万円、対前年同期比92百万円の増益となりました。

事業別では、合成樹脂事業は、原燃料高に伴う価格修正に加え、水処理分野や照明器具分野の拡販に努めてまいりました結果、売上高は2,414百万円、対前年同期比131百万円（同5.8%）の増収となり、この影響を受けてセグメント利益は73百万円、対前年同期比116百万円の増益となりました。一方、化成品事業は、国内需要が低迷するなか安価な海外品の流入の影響により粘接着剤塗工製品は減少したため売上高は1,400百万円、対前年同期比59百万円（同4.1%）の減収となりましたが、顔料分散体の高付加価値品が増加したためセグメント利益は276百万円、対前年同期比57百万円（同26.4%）の増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、主に在庫の増加、投資等の増加等の結果、前連結会計年度末と比較して210百万円増加し、8,496百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金が増加した結果、前連結会計年度末と比較して166百万円増加し、5,523百万円となりました。

純資産は、主に当四半期純利益により、前連結会計年度末と比較して44百万円増加し2,973百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、駆け込み需要の反動が一巡することにより個人消費が持ち直し、企業収益の改善を背景に設備投資の増加があるものの、夏以降の消費者マインドの改善の遅れによる消費の下振れ、足踏み状態が見られ、当社を取り巻く市場環境は依然として厳しい状況が続いております。

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、本日（平成27年2月5日）公表いたしました「業績予想の修正（連結及び個別）に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. その他の情報

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実行税率を使用して計算した結果を計上しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. (要約) 連結財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	当第3四半期末 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,069	1,015
受取手形及び売掛金	1,732	1,735
商品及び製品	645	907
仕掛品	218	242
原材料及び貯蔵品	310	302
繰延税金資産	69	56
その他	65	67
流動資産合計	4,110	4,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	288	280
機械装置及び運搬具	426	427
土地	2,759	2,759
リース資産	5	3
建設仮勘定	55	23
その他	6	8
有形固定資産合計	3,541	3,503
無形固定資産		
ソフトウェア	1	1
その他	2	2
無形固定資産合計	4	3
投資その他の資産		
投資有価証券	166	182
関係会社株式	30	30
繰延税金資産	423	423
その他	8	24
投資その他の資産合計	629	661
固定資産合計	4,175	4,168
資産合計	8,285	8,496

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	当第3四半期末 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,019	1,270
短期借入金	3,000	3,000
1年以内に返済予定の長期借入金	108	106
リース債務	2	1
未払金	137	155
未払法人税等	7	9
未払消費税等	2	20
未払費用	36	46
賞与引当金	92	38
その他	55	48
流動負債合計	4,461	4,698
固定負債		
長期借入金	106	—
リース債務	3	1
退職給付引当金	691	719
役員退職慰労引当金	23	29
長期預り保証金	51	54
その他	19	19
固定負債合計	895	824
負債合計	5,356	5,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,222	1,222
資本剰余金	958	958
利益剰余金	795	824
自己株式	△ 0	△ 0
株主資本合計	2,976	3,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 47	△ 30
その他の包括利益累計額合計	△ 47	△ 30
少数株主持分	—	—
純資産合計	2,928	2,973
負債・純資産合計	8,285	8,496

(2) (要約) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	3,743	3,815
売上原価	3,327	3,260
売上総利益	416	554
販売費及び一般管理費	567	555
営業損失(△)	△ 151	△ 1
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	5	5
その他の収益	91	73
営業外収益合計	97	79
営業外費用		
支払利息	31	26
その他の費用	2	1
営業外費用合計	34	28
経常利益又は経常損失(△)	△ 88	49
特別損失		
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	9	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等 調整前四半期純損失(△)	△ 97	48
税金費用	△ 33	20
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 63	28
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 63	28

（要約）四半期連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△ 63	28
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	16
その他の包括利益合計	15	16
四半期包括利益	△ 48	44
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 48	44
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△	97		48
減価償却費		113		114
売上債権の増減額(△は増加)		83	△	3
たな卸資産の増減額(△は増加)	△	17	△	279
仕入債務の増減額(△は減少)		24		250
法人税等の支払額	△	4	△	5
法人税等の還付額		0		0
その他	△	24	△	1
営業活動によるキャッシュ・フロー		78		124
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出	△	71	△	90
有形固定資産の除却による支出	△	7		—
無形固定資産の取得による支出	△	1		—
関係会社出資金の払込による支出	△	30		—
その他		0	△	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	110	△	108
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)	△	100		—
長期借入金の純減少額	△	108	△	108
リース債務の返済による支出	△	1	△	1
配当金の支払額	△	30	△	0
その他	△	0	△	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	240	△	110
現金及び現金同等物に係る換算差額		28		39
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△	244	△	53
現金及び現金同等物の期首残高		1,281		1,069
現金及び現金同等物の四半期末残高		1,036		1,015

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

1) 前第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,283	1,460	3,743	—	3,743
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,283	1,460	3,743	—	3,743
セグメント利益又は損失(△)	△ 42	218	175	△ 327	△ 151

(注) セグメント利益調整額△327百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△330百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	合成樹脂 事業	化成品 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	2,414	1,400	3,815	—	3,815
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,414	1,400	3,815	—	3,815
セグメント利益	73	276	349	△ 351	△ 1

(注) セグメント利益調整額△351百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△353百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。